

教育研究業績概要

氏 名 米田操		
研究分野	所属学会等の名称	
病理組織学, 細胞診断学, 画像診断学, 超音波診断学, 膵臓病学,	International Academy of Cytology (国際臨床細胞学会) Japanese Society of Clinical Cytology (日本臨床細胞学会) 日本臨床衛生検査技師会 日本超音波医学会 日本臨床検査技師会東海連合会 三重県臨床細胞学会 三重県臨床検査技師会	
担当授業科目名 大学: 病理組織学, 病理検査学 (細胞診を含む), 病理学実習, 生理検査学実習, 解剖学, 画像診断学, 臨床検査学実習, 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ, 医療安全学, 卒業研究, 大学院: 細胞診画像診断学特論, 病理組織検査学特論, 細胞診検査学特論, 細胞診検査学実習, 細胞診検鏡実習		
教育上の能力に関する事項		
事 項	年	概 要
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業で工夫している事	2012～ 現在	診断されるまでの過程を図、表等で分かりやすく解説する。復習の時間を必ず設ける。国家試験を意識した授業を心掛ける。練習問題を作成して問題の解き方、解答の仕方を丁寧に教える。
2 作成した教科書、教材、指導等 ・ Clonical Cytology 臨床検査技師を目指すための細胞診	2013	米田操：消化器領域：肝臓、胆嚢、膵臓 (PP84-91)
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 ・ International Conference on Updates in Cancer Prevention and Research Presented an invited Lecture In india・ Appreciation certificate (Lucknow, India) ・ Japanese Journal of Medical Technology (医学検査査読委員) ・ 三重県臨床細胞学会主催細胞検査士試験対策講座研修会 ・ 第54回日本臨床細胞学会春季大会：シンポジウム	2017 2019 2017 2015	・ Misao Yoneda A case of Metastatic Leiomyosarcoma Diagnosed by Endoscopic Ultrasound Guided Fine Needle Aspiration Cytology ・ 米田操：論文査読の実施 ・ 米田操 消化器領域の講義・実習を担当 (細胞形態の解説) ・ 米田操 膵 EUS-FNA におけるベットサイド診断—私の工夫—
職務上の実績 (学術団体や社会等における活動) に関する事項		
事 項	年	概 要
1 資格、免許、特許、受賞等 (資格) International Cytologist: International Academy of Cytology (資格) 細胞検査士：日本臨床細胞学会 (受賞) The 32 nd world congress of Biomedical Laboratory Science (免許) 臨床検査技師：厚生大臣免許 (特許関連) セルブロック作成の工夫 (特許) ミクロトーム (実用新案) (特許) 生体資料のゲル化容器 (実用新案)	1992 1991 2016 1984 2010 2010 2010	国際細胞検査士登録：6125 細胞検査士登録 4204 (日本臨床細胞学会・評議員、幹事) Study on the sffective of bedside diagnosis and sample production in EUS-FNA, Kobe Japan 臨床検査技師登録：83610 三重大学知的財産登録 特許庁登録 3166861 特許庁登録 3166860

2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 ・NPO 法人メディカルサポート三重	2017-2020	・理事長：教育・医学に関する社会貢献
・一般社団法人・三重県臨床検査技師会	2016-現在	・理事：教育・学会 (学生における臨床検査技師教育、三重学会の実践・検査と健康展等)
・公益社団法人・日本臨床細胞学会	2012-2018	・評議員：細胞検査士会で細胞検査士資格試験・更新規定等の検討
・公益社団法人・日本臨床細胞学会	2019-2020	・幹事：細胞検査士会で細胞検査士資格試験・更新規定等の検討
・一般社団法人・日本臨床衛生検査技師会雑誌： 医学検査	2016-現在	・査読委員：論文内容の査読を実施
・公益社団法人・日本臨床細胞学会三重県支部	2016-2021	・細胞検査士会会長・理事：症例検討会・細胞検査士資格取得研修会 の実施
・公益社団法人・日本臨床細胞学会秋季大会	2015	・学会運営委員・プログラムコア委員

研究業績等に関する事項

著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書)・顕微鏡検査ハンドブック (その他 6 件)	共著	2012	・医歯薬出版	・米田操 (分担執筆) PP177-183
(報告書) ・腫瘍関連マクロファージによる大腸癌の化学療法 薬剤耐性獲得機構の解明 (その他 2 件)	共著	2012	三重大学	文部科学省・科学研究費基盤研究 C
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・ A case of pancreatic ductal adenocarcinoma with marked infiltration with IgG4-positive cells ・ Report of a case of acinar cell carcinoma with its differential diagnosis on endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration cytology. ・ Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration cytology with on-site diagnosis by pathologist ・ Characteristics of bone strength and metabolism in type 2 diabetic model Tsumura, Suzuki, Obese Diabetes mice. ・ Infiltrating CCR2 ⁺ monocytes and their progenies, fibrocytes, contribute to colon fibrosis by inhibiting collagen degradation through the production of TIMP-1. (その他 過去英語論文 39 編) ・ 膵 EUS-FNA の標本作成方法 ・ 膵 EUS-FNA における Diff・Quik (ディフ・クイック) 染色の染色 方法、細胞所見 (その他 過去日本語論文 20 編)		<ul style="list-style-type: none"> ・ Yoneda M. (First author) Inada H, (他 2 名) ・ Yoneda M. (First author) Kanayama K, (他 3 名) ・ Shiraishi T, Kanayama K, Yoneda M. (Last author) ・ Tanaka H, Yamashita T, Yoneda M. (他 2 名) ・ Kuroda N, Masuya M, Yoneda M. (他 13 名) ・ 米田操 (First author) (その他 4 名) ・ 米田操 (First author) (その他 4 名) 	<ul style="list-style-type: none"> J Cytol. Jan;30(1):46-8.2013 J Cytol. Apr;31(2):93-5.2014 Rinsho Byori. Sep;61(9):835-7.2013 Bone Rep Jul 21;9:74-83.2018 Sci Rep Jun 12;9(1):8568.2019 検査と技術 45(5)534-540,2017 検査と技術 45(6)620-628,2017 	
(学会発表等) ・ Study on the effective of bedside diagnosis and sample production in EUS-FNA ・ Cellblocks development method using EUS-FNA Designing new form cassette ・ A case of Pancrease Acinar Cell Carcinoma Diagnosed by Endoscopic Ultrasound Guided Fine Needle Aspiration (その他 過去国際発表 5 報) ・ 膵 EUS-FNA における肉眼的所見について (その他 過去日本語発表 45 報)		<ul style="list-style-type: none"> ・ Yoneda M. (他 4 名) ・ Yoneda M. (他 4 名) ・ Yoneda M. (他 2 名) ・ Yoneda M. (他 2 名) 	<ul style="list-style-type: none"> world congress of Biomedical Laboratory Science Kobe Japan 2016 International Feder for Medical and Biological Belgique 2011 Annual Fall Meeting of the Korean Society of Pathologis Busan Korea 2013 日本臨床細胞学会 2016 	